

平成29年度第3回原子力災害における避難に伴う渋滞対策検討会 議事概要

○第2回検討会で了承された取り組み方針のうち、避難方策の具体化について、事務局から資料1により具体案（避難ルートの再点検、渋滞シミュレーション等）を説明した。

○住民啓発・情報発信について、段階的避難の合理性・有効性等を住民に啓発するためのリーフレット素案（原子力災害にそなえて）を作成し、事前に構成員に意見を求めていたことから、事務局から資料2によりリーフレット素案への構成員意見と対応案を説明した。

○情報提供の方策について、原子力災害時の避難に必要な情報を入手できる方法を整理して県民に周知するための県ホームページ（原子力災害に備える情報収集サイト）を作成し、事前に構成員に意見を求めていたことから、事務局から資料3により県ホームページ（案）への構成員意見と対応案を説明した。

それぞれ事務局案により対応を進めていくことについて、了承された。

○構成機関からの主な意見等は次のとおり。

【避難方策の具体化について】

- ・迂回路を設定してマップに示すだけでは十分な交通誘導ができないので、現地への看板の設置や誘導員の配置も今後検討すべき。
- ・廃炉や中間貯蔵施設、復興事業等の作業員の避難行動が住民避難に大きく影響するため、シミュレーションにおいては対象人口に含めて考えるべき。
- ・住民アンケートの対象を全住民とするのであれば帰還住民だけでなく、避難者を対象にした調査も必要であり、一部とするのであれば帰還住民が対象となるが、年々帰還が進んでいるため、定期的に調査を実施する必要がある。

【住民啓発・情報発信について】

- ・防護措置の基本ルールをしっかりと住民に理解していただくことが必要であり、リーフレット作成はその一歩。これらを活用して住民との対話を丁寧に実施していくことが大事である。
- ・住民は不安があると過大に反応してしまう。発電所の現状や廃炉のリスクについてしっかり説明して行く必要がある。
- ・段階的避難を強調すべきとは思いますが、帰還住民が少なければ一斉に避難してもよいのではないか。

【情報提供の方策について】

- ・ホームページから情報を収集してもらう場合、アクセスが集中しても対応できるようにサーバー等の整備が必要。